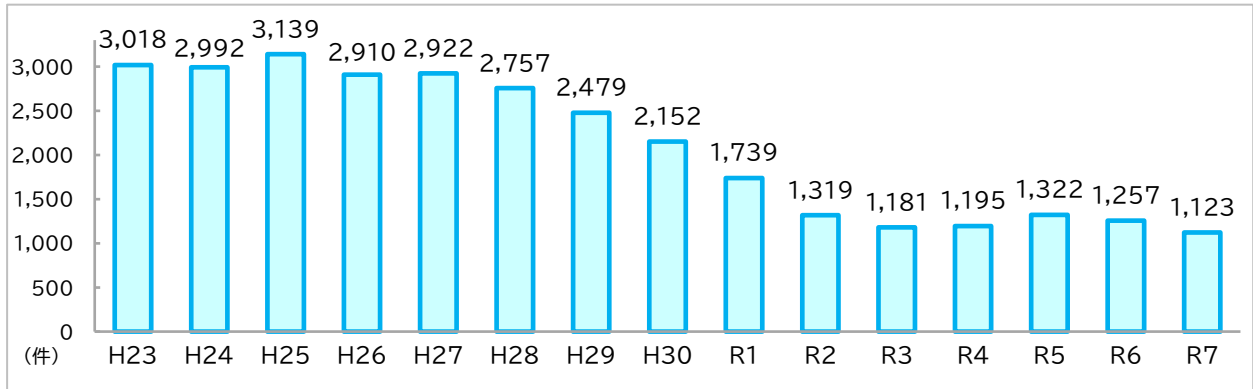


5 交通事故に関する状況 (警察統計)

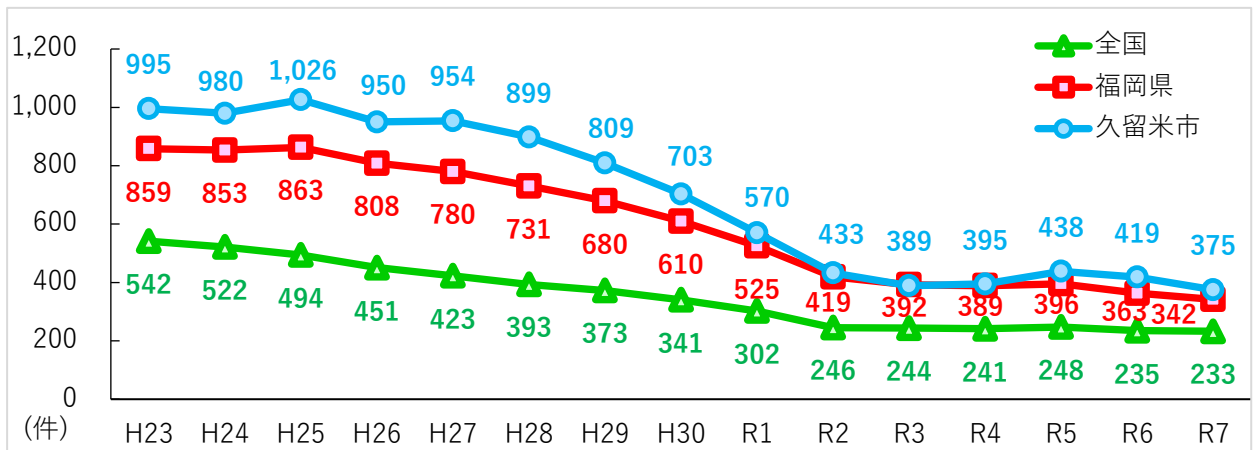
(1) 久留米市の交通事故発生状況

コロナ禍で急減した交通事故発生件数はR4年、R5年と増加したが、R6年、R7年は減少した。

■[図 5-1]久留米市の交通事故発生件数の推移



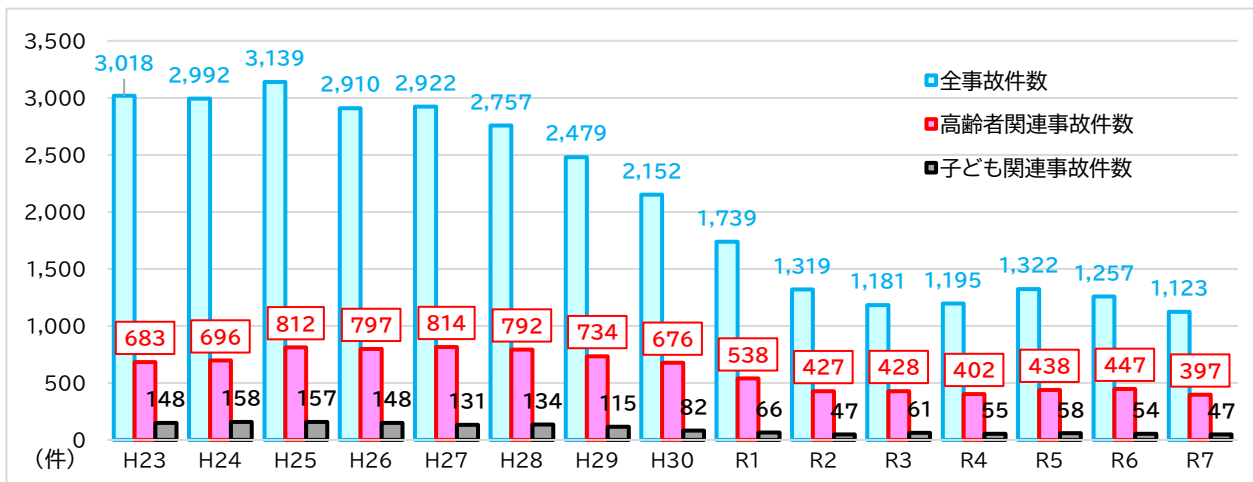
■[図 5-2]人口 10 万人あたりの交通事故発生件数の比較 (久留米市、福岡県、全国)



(2) 高齢者関連事故について

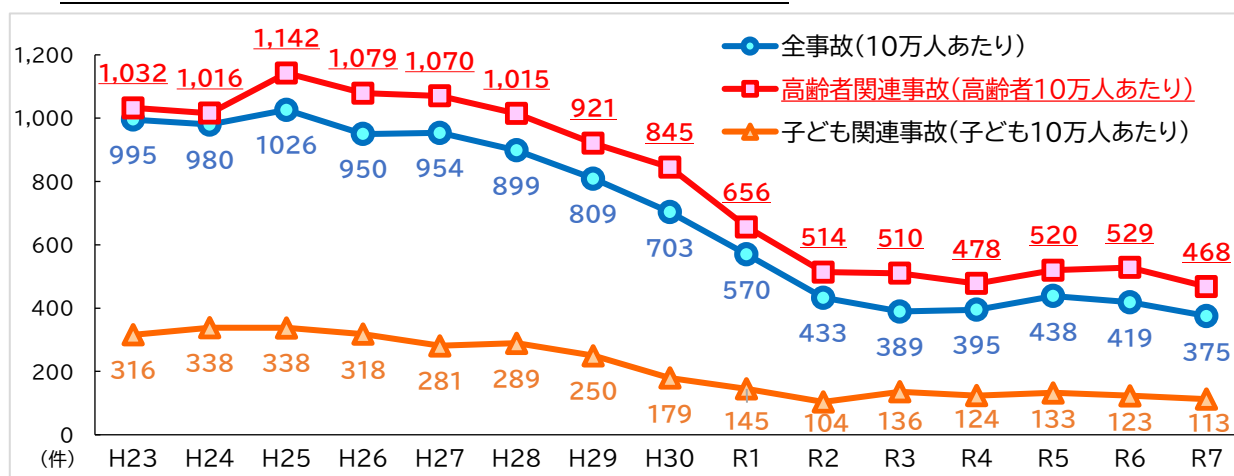
■[図 5-3]年齢層毎の久留米市の交通事故発生件数の推移

高齢者関連の事故数は減少傾向にある。



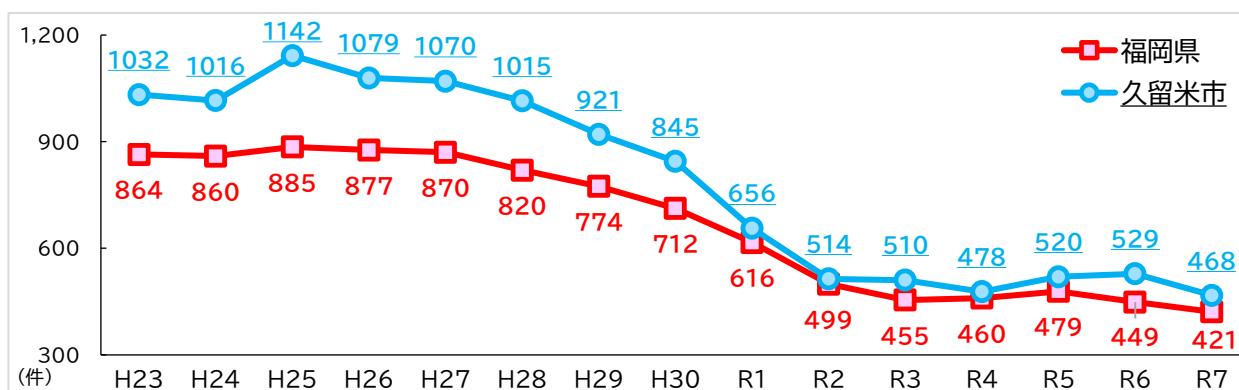
■[図 5-4]年齢層毎の人口 10 万人当たりの久留米市の交通事故発生件数の推移

高齢者が関わる交通事故件数は減少傾向にあるが、各年齢層の人口比でみると高齢者関連事故件数は、久留米市全体の交通事故発生件数を上回っている。



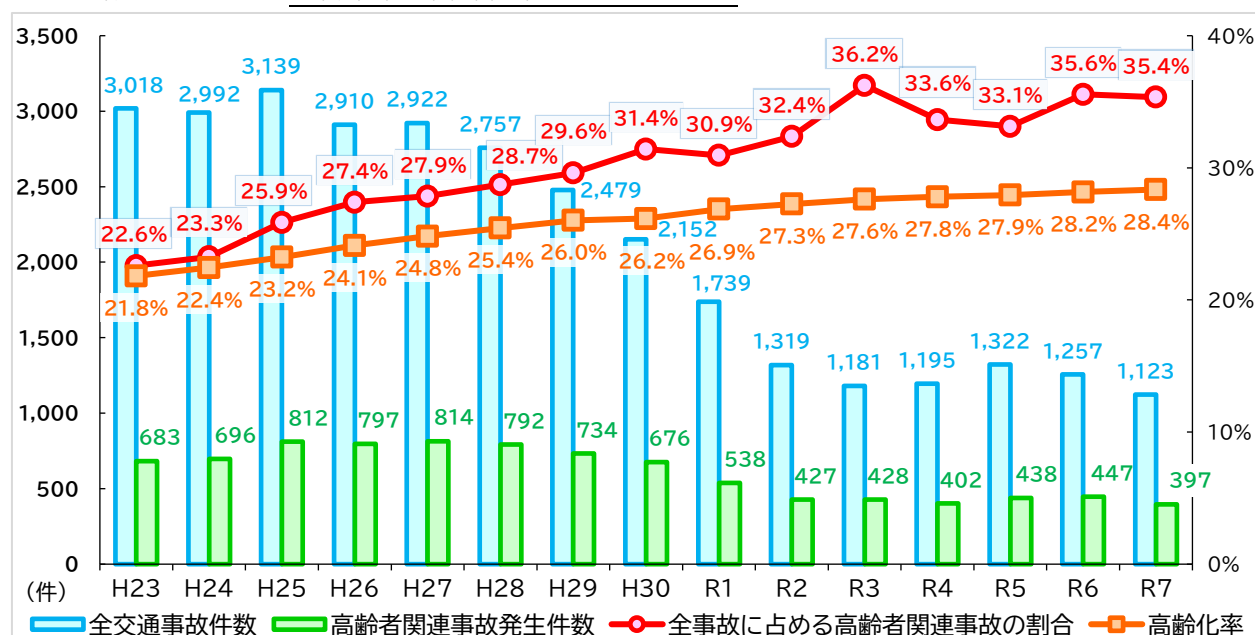
■[図 5-5]高齢者人口 10 万人当たりの高齢者関連事故件数の比較（久留米市、福岡県）

人口 10 万人当たりの高齢者関連交通事故の件数は、福岡県の値を上回っている。



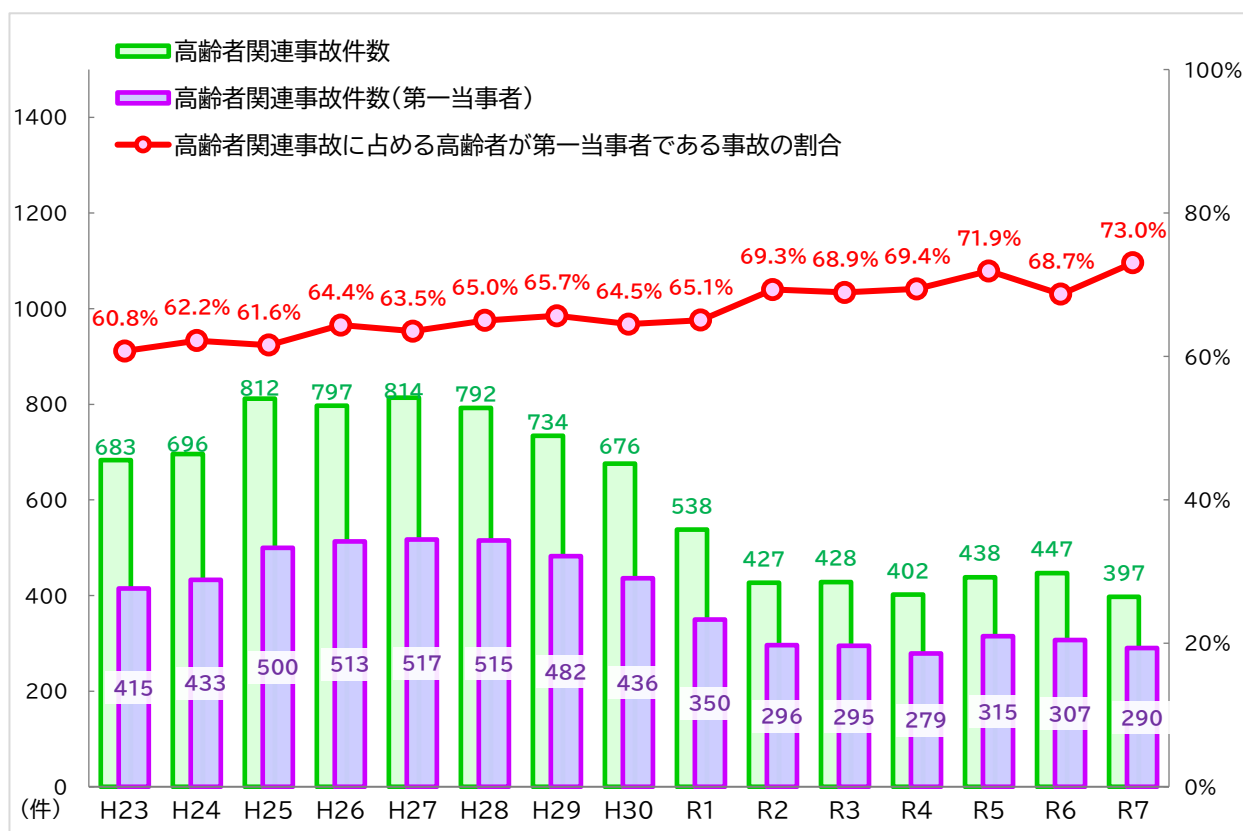
■[図 5-6]高齢者関連事故の発生件数、及び全事故に占める割合

コロナ禍で発生件数は減少していたが、全事故に占める高齢者関連事故の割合はコロナ禍前より増加しており、久留米市の高齢化率を上回っている。

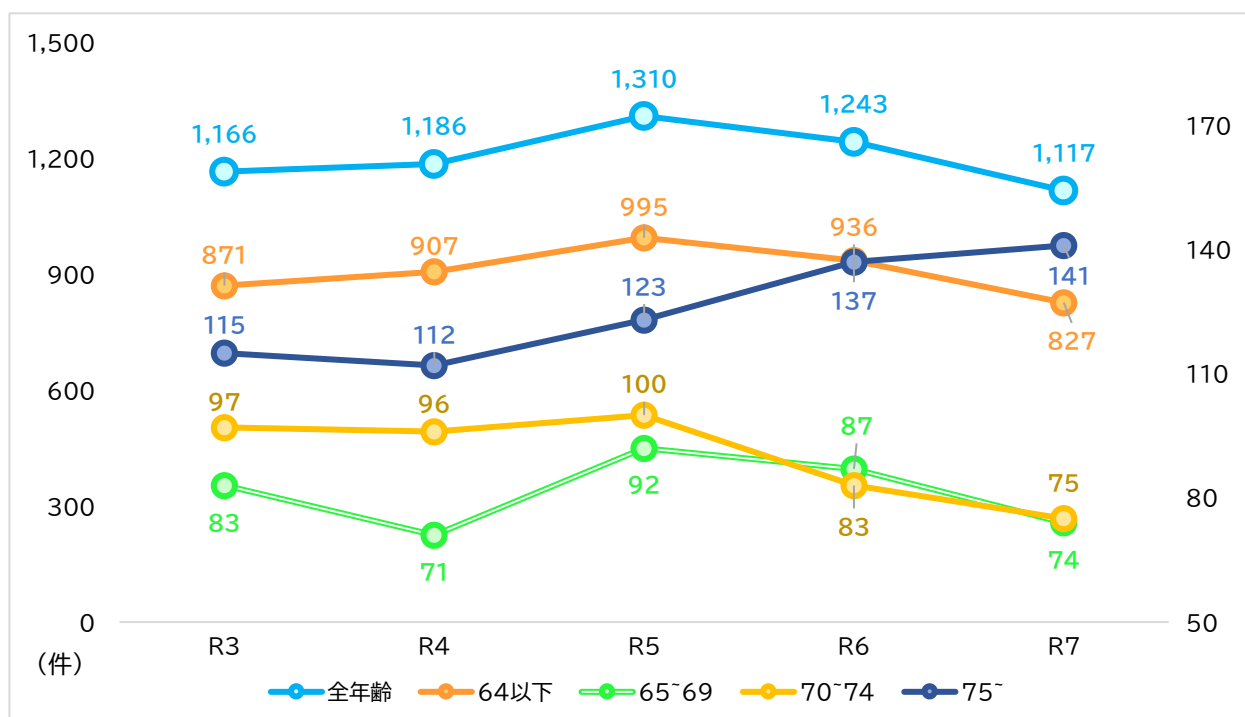


■[図 5-7]高齢者が加害者（第一当事者）の事故の件数、及び高齢者関連事故に占める高齢者が加害者となる事故の割合

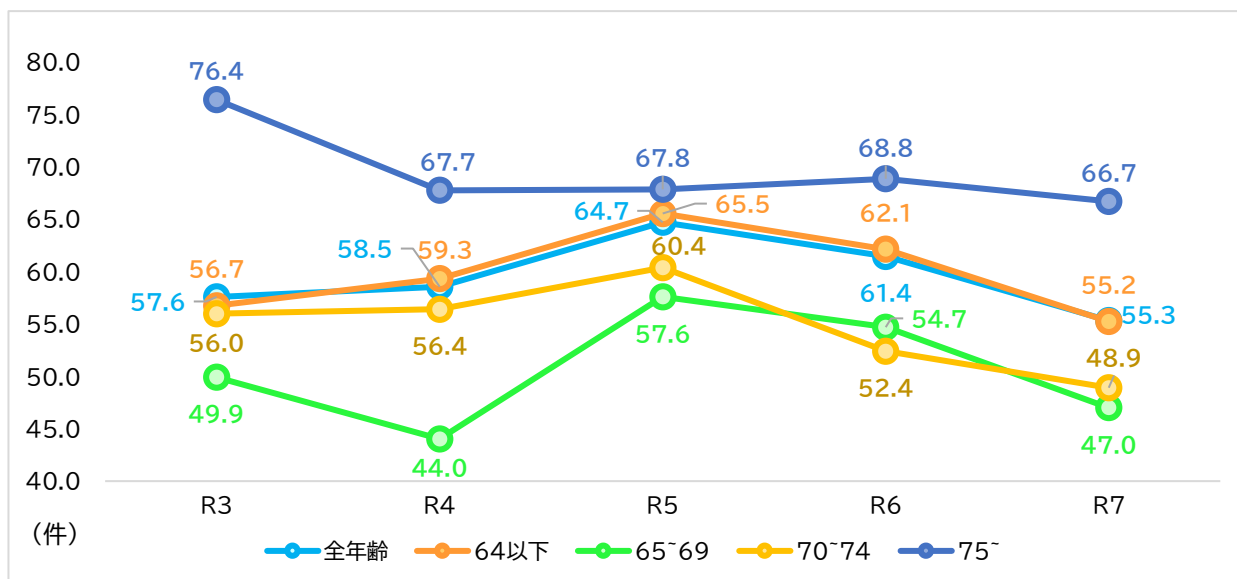
また、高齢者関連事故に占める高齢者が加害者（第一当事者）となる交通事故の割合は増加傾向にある。



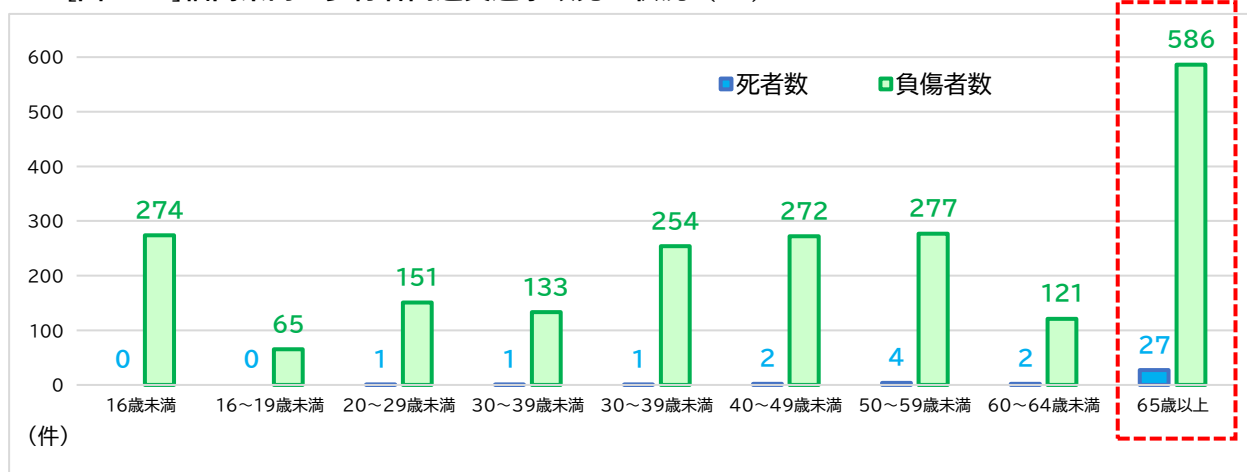
■[図 5-8]久留米市の運転免許を保有している高齢者が、第一当事者となった交通事故の件数



■[図 5-9]久留米市の運転免許を保有している高齢者が、第一当事者となった交通事故件数
(1万人あたり)

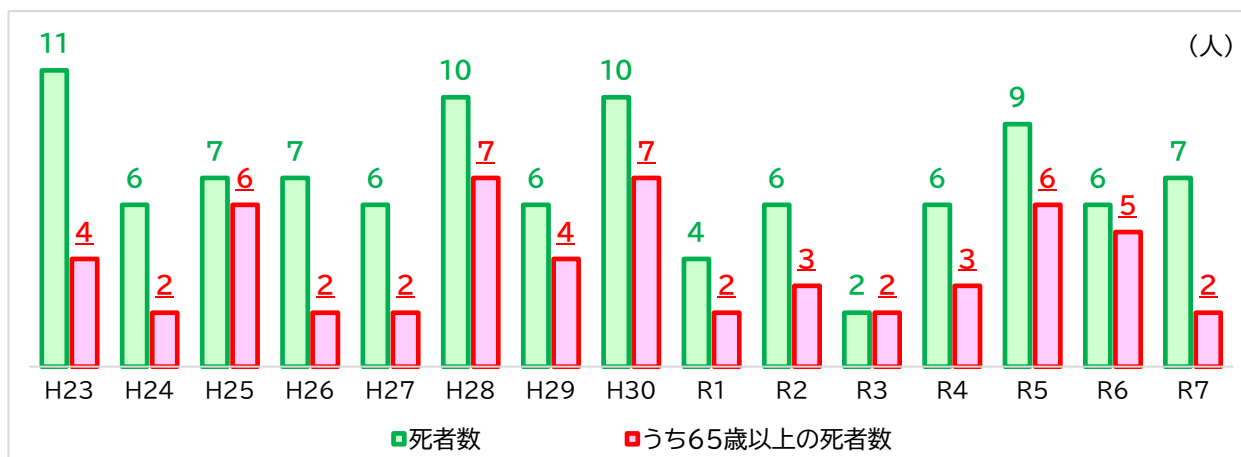


■[図 5-10]福岡県内の歩行者関連交通事故発生状況 (R6)



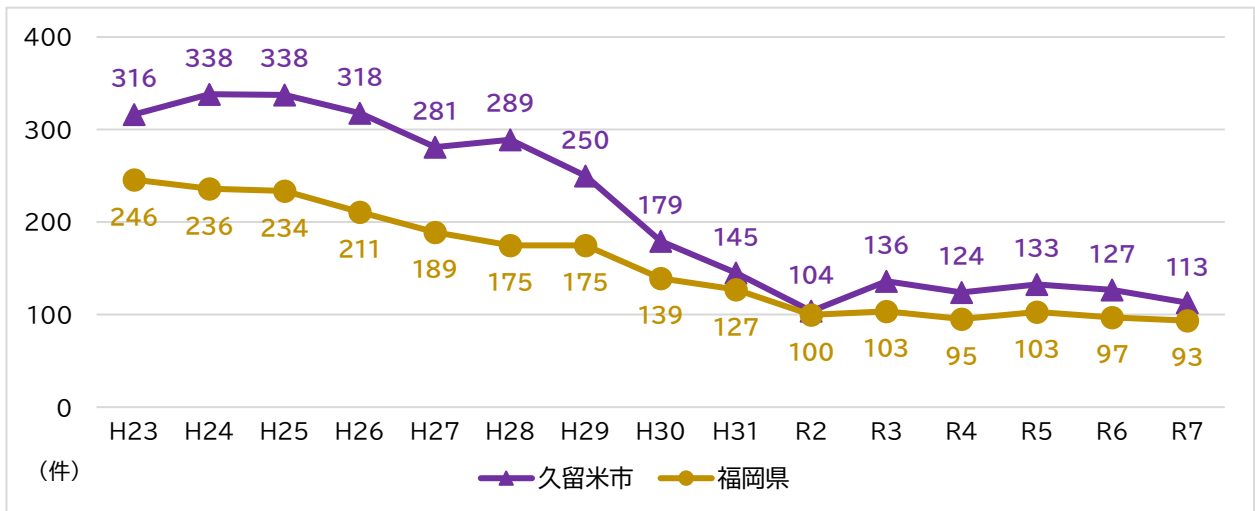
■[図 5-11]久留米市の交通事故による死者数

久留米市内の交通事故による死者のうち、高齢者が占める割合が多かったが、令和7年はその割合が減少している。



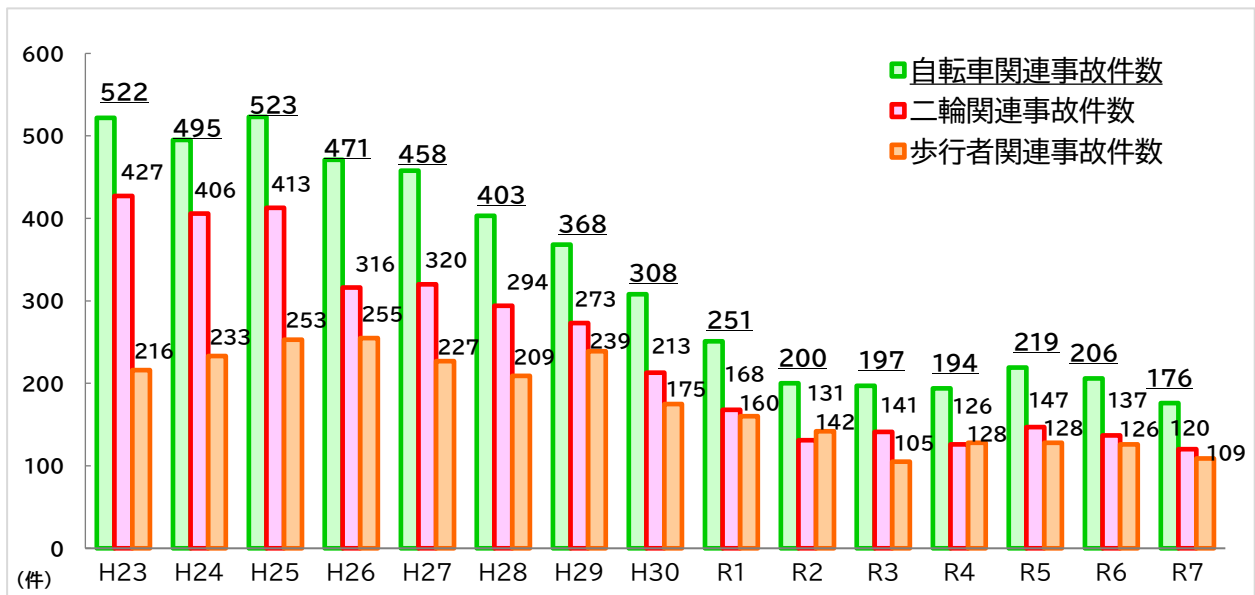
【参考】[図 5-11]子どもの人口 10 万人当たりの子ども関連の交通事故発生件数の比較

(久留米市、福岡県) 交通安全教室の実施等により、福岡県との事故数の差が縮まった。



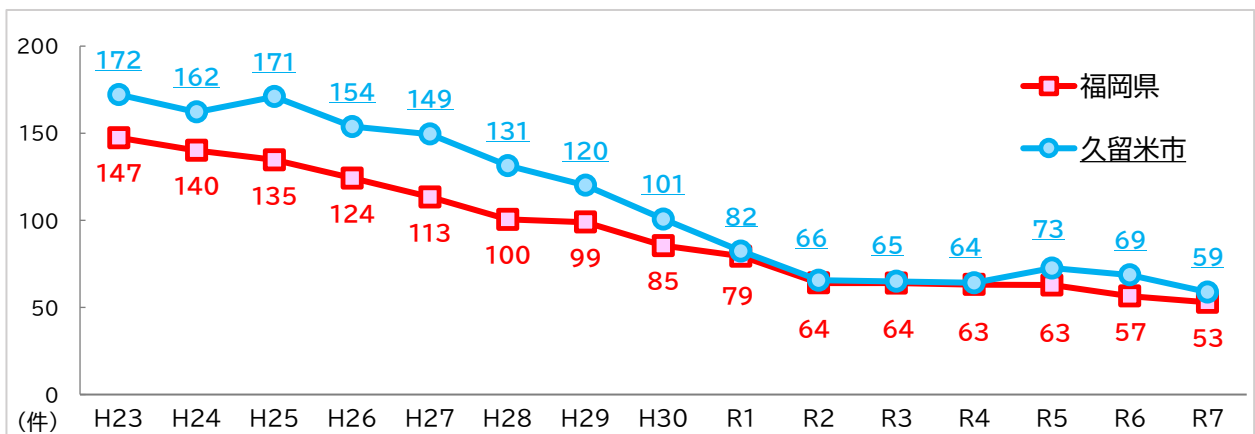
(3) 自転車関連事故について

■[図 5-12]久留米市の車両別交通事故発生件数等の推移



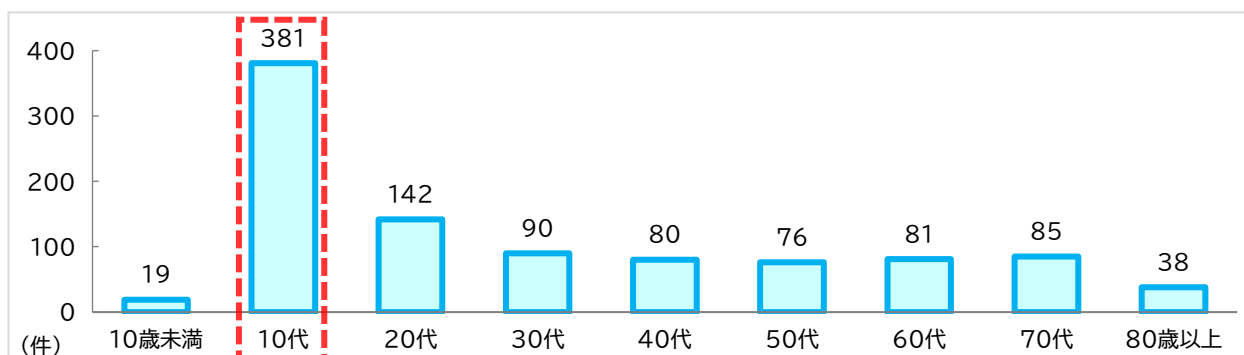
■[図 5-13]人口 10 万人当たりの自転車関連事故発生件数の比較 (久留米市、福岡県)

久留米市が福岡県の件数を常に上回っている。



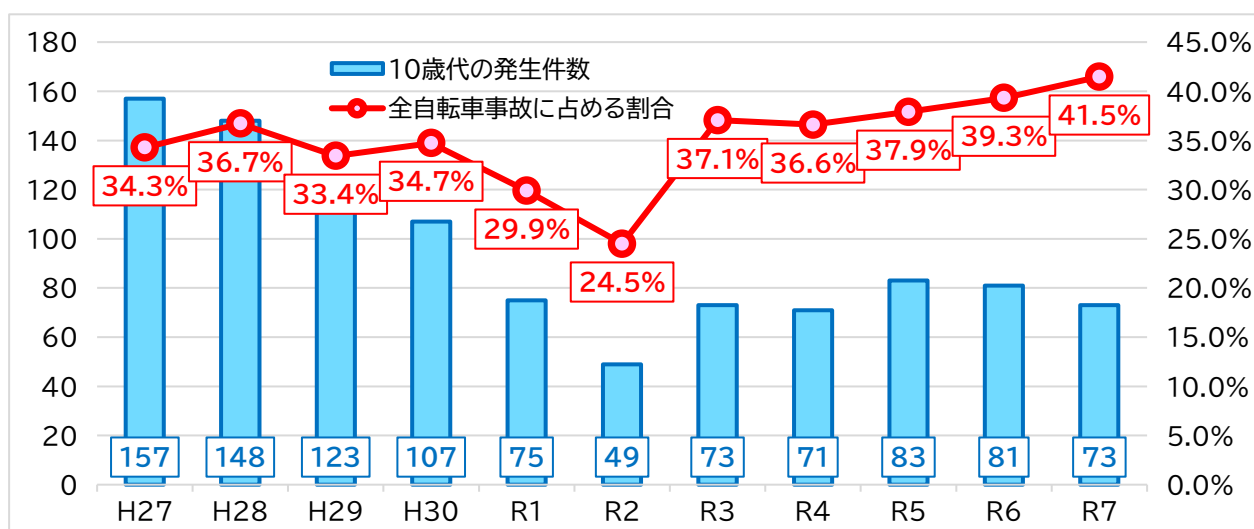
■[図 5-14]年齢層毎の自転車関連事故発生件数（R3～R7 年の累計）

年齢別にみると、自転車関連事故は 10 代の事故件数が突出して多い。



■[図 5-15] 久留米市内の 10 歳代の自転車関連事故発生件数及び全自転車事故に占める割合

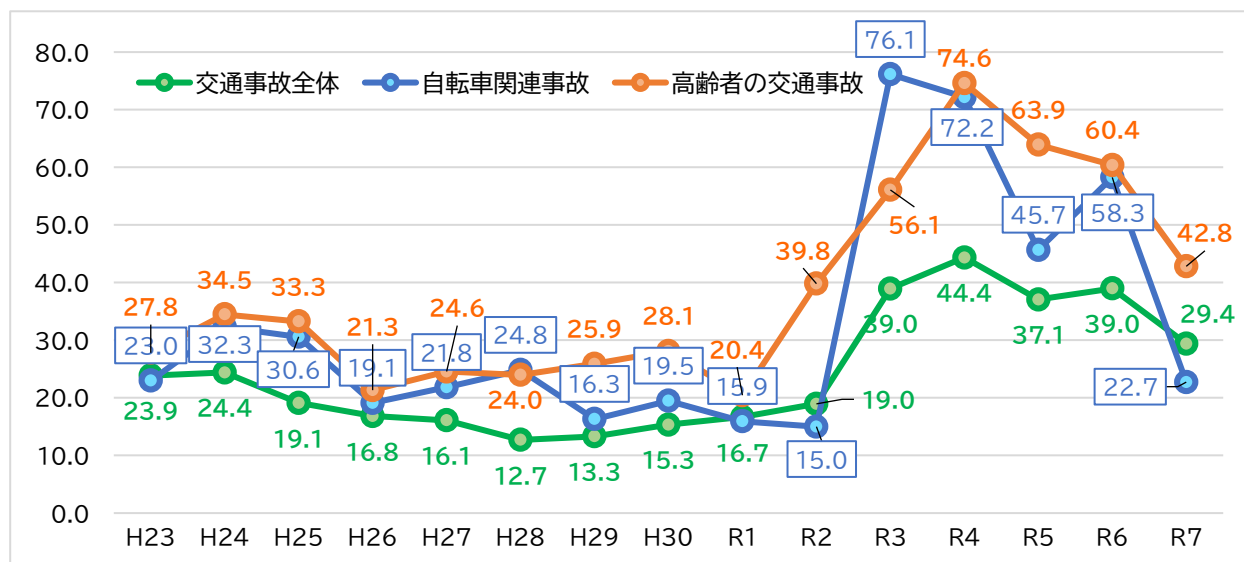
10 歳代の事故のうち、自転車関連の事故の割合は増加している。



（４）近年の事故の傾向

■[図 5-16]自転車や高齢に関連する交通事故 1,000 件当たりの、死亡事故と重傷事故の件数

自転車関連の交通事故による死亡事故と、重傷事故の合計件数が、令和 6 年に比べ大きく減少している。



(4) シニアカー関連事故について

シニアカー関連事故の内容をみると、横断中の事故や対歩行者の事故が起きている。[表 5-17]
久留米市では、令和 4 年、令和 6 年、令和 7 年に横断中の事故が 1 件ずつ発生している。

全国的にみると、電動車いすの重大事故が発生している。[表 5-18]

■[表 5-17] シニアカー関連事故件数

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
福岡県	7	7	14	8	6	未集計	未集計
久留米市	—	—	—	1	—	1	1

■[表 5-18] 消費者庁が発表した電動車いすの重大事故（R5 年～R7 年）

番号	消費者庁 公表日	事故 発生日	発生地	製品名	被害状況	事故内容
1	R6.5.24	R6.4.13	愛媛県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品とともに水路で発見され、死亡が確認。
2	R6.5.14	R6.4.25	福岡県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（70 歳代）が当該製品で走行中、用水路へ転落し、死亡。
3	R6.4.12	R6.3.24	宮崎県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、当該製品ごと田んぼに転落し、死亡。
4	R6.4.9	R6.2.16	福岡県	電動車いす (ジョイスティック形)	重傷 1 名	使用者（70 歳代）が当該製品を使用中、歩道から外れ、転倒、負傷した。
5	R5.12.28	R5.12.15	東京都	電動車いす (ハンドル形)	重傷 1 名	店舗の駐輪場を当該製品で走行中、駐輪中の自転車に接触後、自転車転倒防止柵に衝突し、転倒、負傷。
6	R5.10.11	R5.9.22	神奈川県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	当該製品に乗車していた使用者（80 歳代）が、当該製品とともに山道で転倒しているところを発見され、死亡が確認。
7	R5.8.29	R5.8.4	東京都	電動車いす (ジョイスティック形)	重傷 1 名	当該製品を使用中、駅のホームから転落し、負傷。
8	R5.7.7	R5.6.18	埼玉県	電動車いす (ハンドル形)	重症 1 名	店舗の駐車場で使用者（70 歳代）が当該製品を使用中、転倒、負傷。
9	R5.6.16	R5.5.27	福岡県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、川へ転落し、死亡。
10	R5.6.2	R5.5.27	埼玉県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、踏切内で列車にはねられ死亡。
11	R5.5.19	R5.4.20	京都府	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、当該製品ごと道に転倒し、病院に搬送後、入院中に死亡。
12	R5.4.21	R5.4.10	京都府	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（80 歳代）が当該製品を使用中、踏切内で列車にはねられ死亡。
13	R5.4.4	R5.3.19	山形県	電動車いす (ハンドル形)	死亡 1 名	使用者（90 歳代）が当該製品とともに沢で発見され、死亡が確認。

※消費者庁・国民生活センター等からの消費生活に関する情報より

※R7 年は、重大事故の報告なし